

那須梱包株式会社



私のエコ活動 (みんなの取組み宣言)

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年 6月1日 ~ 2024 年 5月 31日)

作成日： 2024年9月1日

更新日： 2024年12月1日

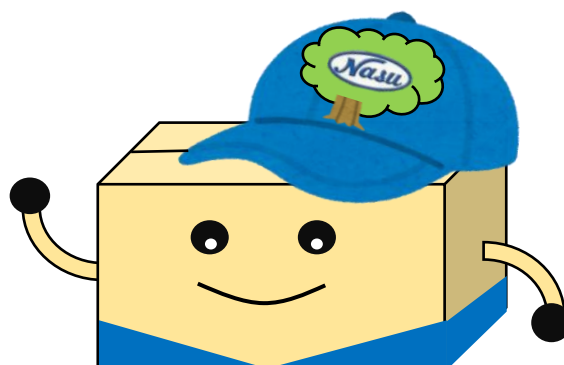
目次	ページ
はじめに	3
SDGsが掲げる17のゴールの紹介	4
取組み内容紹介	6
ごあいさつ	8
グループ指針	9
環境経営方針	10
組織の概要	11
認証・登録の対象組織・活動	12
事業や業務内容の紹介	13
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	14
主な環境負荷の実績	15
環境経営目標及びその実績	15
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	16
緊急事態対応訓練	24
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	25
代表者による全体の評価と見直し・指示	26
これまでの環境活動の紹介	28

・ 那須梱包公式EA21イメージキャラクター

従業員から募集・投票により決定



ナスティー



那須dan君

はじめに

わたしたちが活動しているエコアクション21とSDGsのつながり

SDGs（エスディージーズ、持続可能な開発目標）を知っていますか？
これは、2015年に国連が採択した先進国を含む国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴールです。
同年12月に採択された地球温暖化対策としての「パリ協定」と両輪になって、
今、世界を大きく変える道しるべとなっています。
社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。



那須梱包は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



「SDGs」って会社と、どう関係があるの？

SDGs が関係するのはグローバルな取り組みだけではありません。
企業が行う事業そのものはもちろん、普段から取り組んでいる節電や節水、
社員の福利厚生など、企業が行う行動すべてがSDGs とつながります。
今まで取り組んできたエコアクション21を継続・改善していくことで
環境と経済の好循環を生み出すことができるのです。

CO₂排出量の少ない エネルギーの利用



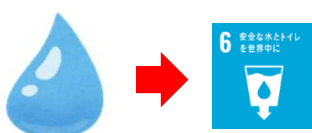
子育て支援介護支援



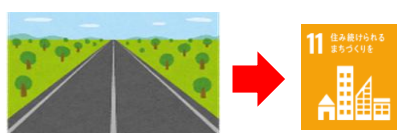
リサイクルの推進



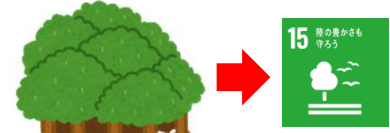
節水活動



開発時の配慮



社有林の活用





SDGs が掲げる17のゴールの紹介



目標：1 貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



目標：2 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



目標：3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標：4 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



目標：5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



目標：6 安全な水とトイレを世界中に

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



目標：7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



目標：8 働きがいも 経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



目標：9 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



目標：10 人や国の不平等をなくそう

各国内及び各国間の不平等を是正する



目標：11 住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



目標：12 つくる責任 つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する



目標：13 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標：14 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



目標：15 陸の豊かさも守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標：16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



目標：17 パートナリーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

取組み内容紹介

電力（省エネ）



- ・ エアコンの運転時間を、稼働記録表に記入する
- ・ 室温が、26℃以下とならないように冷房温度を管理する
- ・ 室温が、22℃以上とならないように暖房温度を管理する
- ・ 終業後エアコンは、速やかに切って、節電に努める
- ・ 空調機のフィルターは、定期的に清掃し空調効率を良くする
- ・ 終業後の不必要な照明は、速やかに消す
- ・ 温水便座の使用後は、便座の蓋を閉め節電する
- ・ 自動包装作業終了後は、速やかにコンプレッサーの電源を切る

廃棄物（削減）



- ・ ゴミ分別方法を理解し、分別収集を実施する
- ・ 分別収集したゴミを、計量し記録用紙に記入する

水道（節水）



- ・手洗い時は、過度に水を出さず、節水に努める

ガソリン（CO2 排出削減）



- ・エコドライブで、ガソリン使用量を削減する
- ・走行記録を記入し、燃費の向上に取り組む

環境に配慮した活動



- ・包装資材を確認し、包装資材違いをなくす
（手直しによるロスと廃棄する資材を削減する）
- ・作業手順を守り、販社クレームをなくす
- ・ヤレ紙を再利用して、紙の使用量を削減する
- ・会議資料のペーパーレス化で、紙使用量を削減する

ごあいさつ

お客様にご満足いただける企業グループを目指して

20世紀は利便性のみを追求した大量生産・大量消費型社会であったと言えますが、19世紀までの日本、とりわけ江戸時代の日本は、限られた資源を最大限に活かして経済を維持し、文化を発展させた世界に誇る循環型社会の一つのモデルでした。

今こそ先人たちの知恵を現代に活かし、もう一度今日における新しい循環型社会を再構築すべき時に来ていると思います。

我々の企業活動あるいは各家庭においても、化石燃料依存率を下げ、水資源の有効利用を促進し、その他環境負荷を最小限に抑える努力を重ねることが重要であると考えます。

皆さまの「喜び」と「環境負荷低減」を両立させていくことこそが、我々に与えられたミッションであると認識し、今後の企業活動を行ってまいります。

新アクションプラン（3カ年計画）

テーマカテゴリー 【 P S Q C D M E 】

P: Productivity(生産性)

S: Safety(安全)

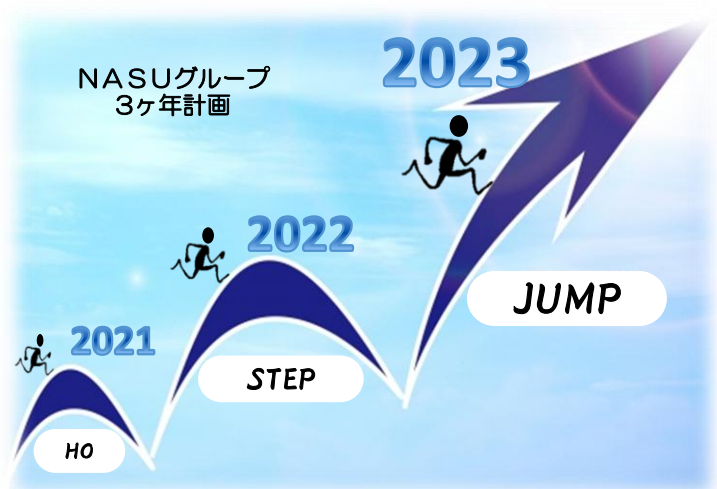
Q: Quality(品質)

C: Cost(原価)

D: Delivery(納期)

M: Morale(士気)

E: Environment(環境)



グループ指針



NASUグループ指針

NASUグループ70周年を機に、より一層みなさまのお役にたてるよう、今後我々が変えてはならない価値観を共有し、従業員一人ひとりが自らの考えで行動できるようにグループとしての指針をここに定める。

NASUグループビジョン（ありたい姿）

私たちは、すべての関係先と価値観を共有し、みなさまから必要とされる企業グループであり続けます。

＜グループビジョンの意味＞

企業も個人も社会から選ばれる理由を持たなければ存続は難しい。
存続できる価値を持ち続けるためには、地域社会、株主様、お客様、取引先様、職場、ご家族など、すべてのステークホルダー（利害関係者）との関係を大切にし、社会から必要とされる存在でなければならない。

NASUグループ5つの基本理念

基本理念		N	A	S	U	詳細内容
1	基本精神（スピリット）	何事も	諦めず	しっかり	動きます	決めたことは強い意志を持って行動し、最後までやり遂げる
2	日々果たすべき使命（ミッション）	納期と	安全と	正確さを	売ります	提供しなければならないサービス品質の基本
3	心がけること（スローガン）	にこやかに	明るく	素直に	美しく	互いに思いやりを持ち気分よく過ごすことが仕事の効率化を生む一番の早道
4	大切にすること（ハート）	人情	愛情	心情	友情	人との関わりのうえで、忘れてはならない大前提条件
5	約束する価値（バリュー）	納得	安心	信頼	嬉しさ	「頼んで（任せて）良かった」と思っていただけ仕事を約束する

2021年6月1日作成



環境経営方針

〈環境経営理念〉

私たちは「環境負荷の低減なくして企業の発展なし」のスローガンのもと、環境負荷低減に向けた継続的改善を行ない、かけがえのない自然環境の限られた資源を大切にしながら、持続可能な社会に向けて、皆さまに喜んでいただける企業活動を行ってまいります。

〈環境保全への行動指針〉

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守し環境負荷を低減させます。



2. 省エネ活動により二酸化炭素排出量の削減に努め、限られた資源を大切にします。



3. 廃棄物の分別をおこない、発生を抑制するとともに、リサイクル資源として、循環型社会再構築に寄与します。



4. 節水活動により水使用量の削減に努め、水資源を有効に利用します。



5. 化学物質を利用する業務が発生した場合は適正管理します。



6. 生産性向上と人づくりに努め、企業価値向上を目指します。



7. 地域の環境イベントに参加し、自然環境を保護します。



制定日： 2017年6月1日
改定日： 2020年3月5日

代表取締役社長

那須善行

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

名 称：那須梱包株式会社

代 表 者：代表取締役 那須 善行

(2) 所在地

西宮合同支社：兵庫県西宮市山口町阪神流通センター1番65号
(本社機能担当、西宮包装センターと同住所)

西宮包装センター：兵庫県西宮市山口町阪神流通センター1番65号
(従来通り)

西宮人財開発センター：兵庫県西宮市山口町上山口1365番1号
(西宮開発センターから名称変更)

西宮部品センター：兵庫県西宮市山口町阪神流通センター1番78号
(取引先敷地内のため、活動のみ)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責 任 者：取締役常務執行役 本部長 長谷 基幸 ☎ 078-597-6623

担 当 者：事業戦略ユニット 主担当 川崎 千郎 ☎ 078-597-6623

(4) 事業内容

梱包作業及び、倉庫内作業(自動車部品の入出庫業務)

(5) 事業の規模

売上高 1,051 百万円

	包装センター	開発センター	部品センター	合計
従業員数	145名	6名	119名	270名
(8時間勤務換算)	95名	6名	102名	203名
延べ床面積	3,997㎡	542㎡	8,863㎡	4,539㎡

※ 部品センターは認証の範囲外とするため床面積は含まない。

※ 部品センターは他社建物内業務のため活動のみとする。

(6) 事業年度

6月1日～5月31日

認証・登録の対象組織・活動

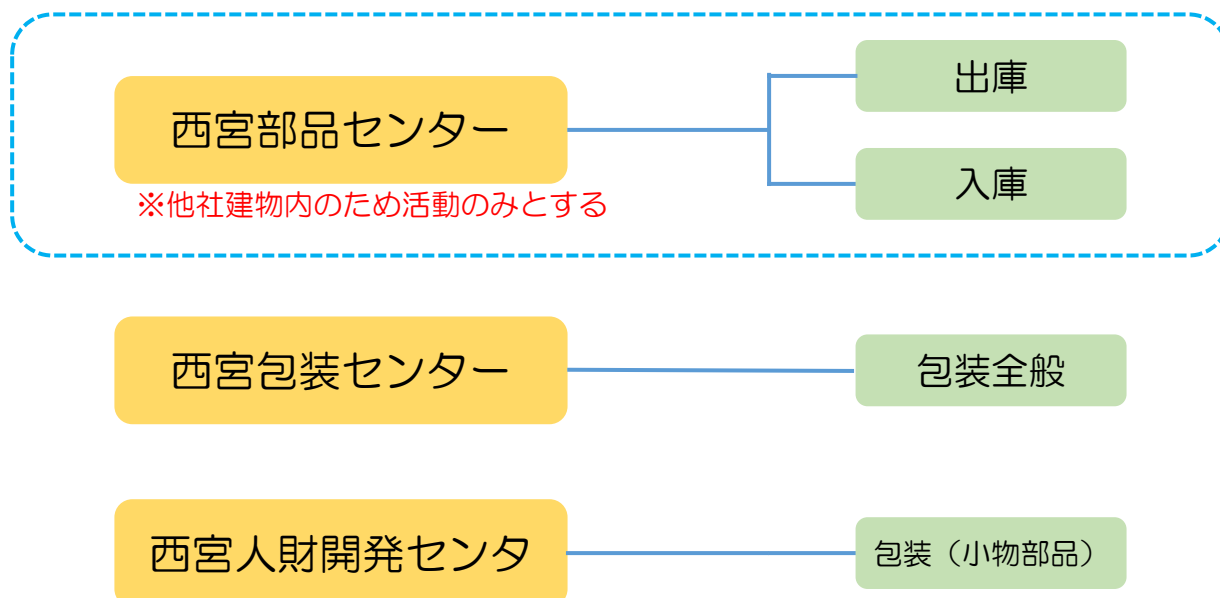
- 登録組織名 : 那須梱包株式会社
- 対象事業所 : 西宮包装センター
西宮開発センター（旧西宮外販センター）
- 対象外 : 西宮部品センター
（他社 ISO14001 取得済み、活動のみ対象範囲に含む）
本社ビル（グループ会社に業務委託）
（本社機能は、西宮合同支社で運営）
- 活動 : 包装作業及び倉庫内作業（自動車部品の入出庫業務）

沿革

- 昭和60年 那須梱包株式会社として業務開始
代表取締役にな須史朗が就任
- 昭和62年 兵庫県西宮市山口町に西宮営業所を開設
- 平成14年 代表取締役に那須善行が就任
代表取締役会長にな須史朗が就任
- 平成15年 大阪府池田市満寿美町に本社を移転
- 平成16年 公益社団法人日本ロジスティクス協会入会
- 平成18年 兵庫県西宮市阪神流通センター内にロジスティクスセンター
開設
- 平成27年 兵庫県西宮市阪神流通センター内に西宮合同支社を開設
- 平成30年 **エコアクション21 認証登録**【認証番号：0012315】
- 令和4年 西宮開発センター開設
- 令和5年 西宮開発センターを西宮人財開発センターに名称変更
- 令和5年 新型包装機導入（開発C4台、包装C2台）

事業や業務内容の紹介

事業の概要

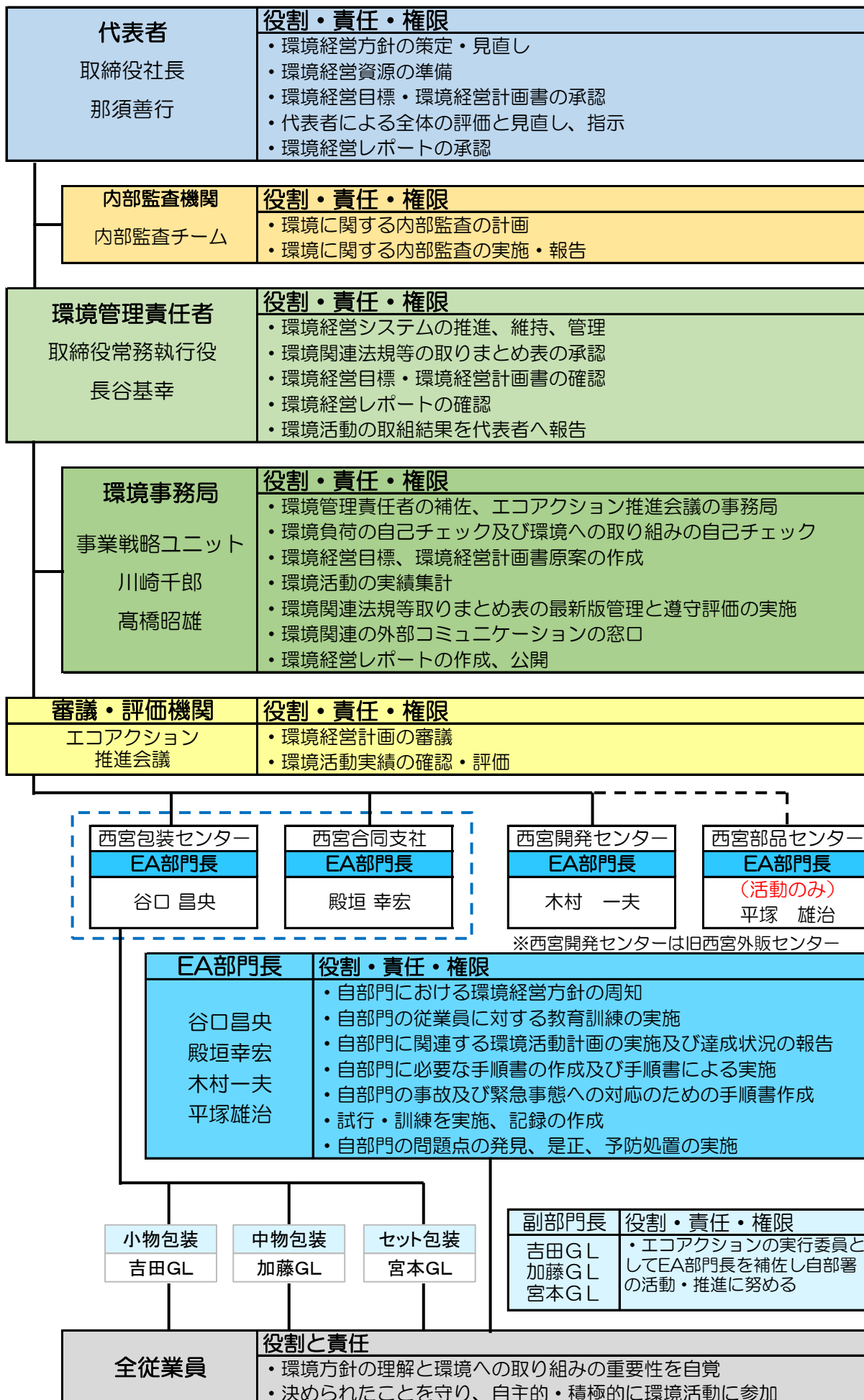


業務イメージ



環境経営組織図及び役割・責任・権限表

変更：2021年12月1日



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	147,949	147,056	150,633
廃棄物排出量				
〔一般廃棄物排出量〕	kg	14,655	15,359	17,865
〔産業廃棄物排出量〕	kg	1,170	1,530	2,530
総排水量	m ³	937	856	972
	CO2排出係数	0.428	0.428	0.428
	電力会社	リコージャパン	リコージャパン	リコージャパン
	採用年度	2019年度	2019年度	2019年度

※一般廃棄物排出量には、再資源化量も含まれます。

一般廃棄物再資源化量	kg	5,162	5,728	6,974
再資源化率	%	35%	37%	39%

環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力利用による CO2の排出削減	kg-CO2		136, 624	135, 941	138, 883	×	135, 258	134, 575
	基準年度比		2022年	99. 5%	102%		99. 0%	98. 5%
自動車燃料による CO2排出の削減	kg-CO2		10, 432	10, 223	11, 751	×	10, 171	10, 119
	基準年度比		2022年	98. 0%	113%		98%	97%
CO2排出合計	kg-CO2		147, 056	146, 164	150, 633	×	145, 429	144, 694
	基準年度比		2022年	99. 4%	102%		99%	98%
一般廃棄物の削減 (全体)	kg		9, 630	9, 438	10, 891	×	9, 341	9, 245
	基準年度比		2022年	98. 0%	113%		97%	96%
水道水の削減（全 体）	m ³		856	830	972	×	822	813
	基準年度比		2022年	97. 0%	114%		96%	95%
販社クレームの削減 (部品センター)	件		0	0	2	×	0	0
	基準年度比		2022年	100%	0%		100%	100%
包装資材違いの削減 (包装センター)	件		145	116	151	×	102	87
	基準年度比		2022年	80%	104%		70%	60%
生産性向上と人づく り	行動目標							

※ LPG使用量は、未使用のために目標から省く。

基準年変更理由：開発センター開設による基準年度統一のため

取組項目

- ・電力使用量の削減
- ・燃料使用量の削減（ガソリン）
- ・一般廃棄物量の削減
- ・水道水使用の削減
- ・生産性与人づくり（行動目標）
- ・資材間違いの削減
- ・販社クレームの削減

取組結果と評価について

数値目標　： ○達成　　×未達成

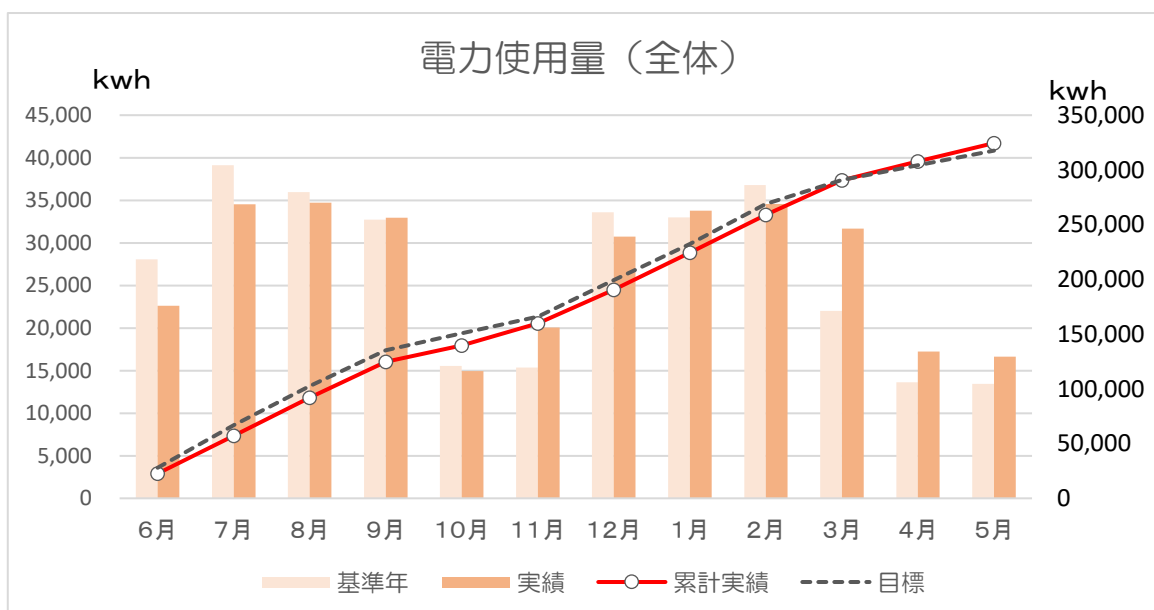
達成状況 : ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった
×できなかった

次年度：取組内容の、継続・廃止・強化・変更

① 電力による二酸化炭素排出量の削減



電力使用削減の取組み	達成状況	次年度
数値目標	×	
・空調温度の適正化推進	△	強化
・空調機フィルターの定期的な清掃	○	継続
・空調や照明を必要な区域・時間に限定	○	継続
・温水便座のふた閉め活動	△	継続
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	継続削除
・エアコン稼働時間の把握	○	継続
・終業前の空調機電源オフ	×	強化



取組結果とその評価、次年度の取組内容

- ・開発センター1Fの新たな運用が始まりその分が目標未達となった。
- ・終業前の空調機電源オフが難しくタイミングを変更し実施する。空調温度の適正化や温水便座の蓋閉めについても引続き実施し削減に努める。
- ・開発センターの電力使用量を分配し目標や実績に反映させ削減に取り組む。

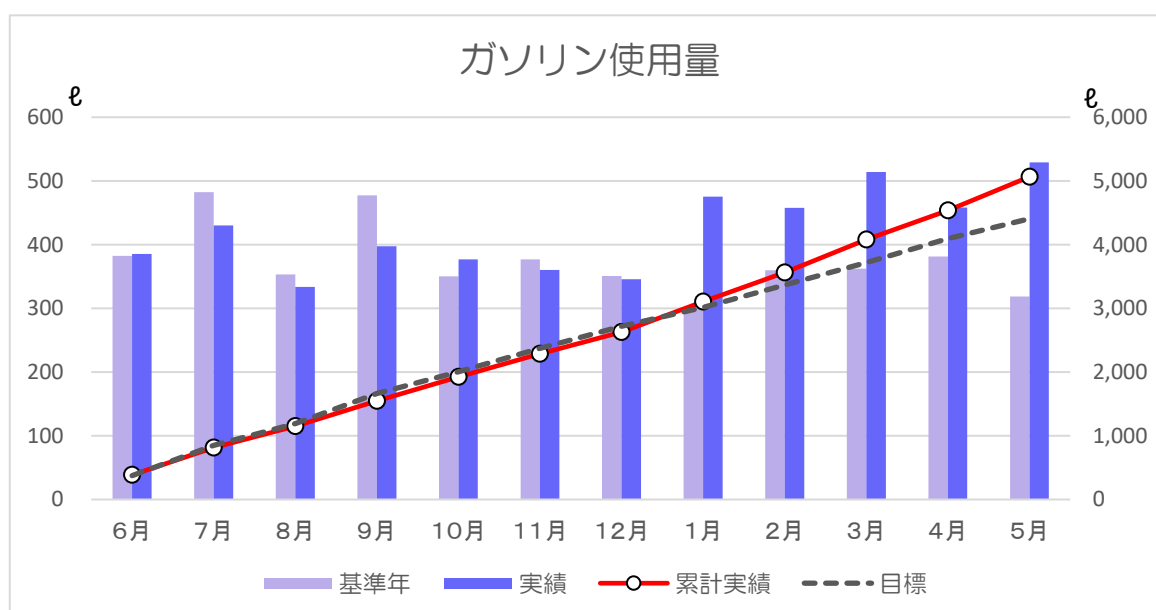


包装機の導入（開発C）

② 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減



ガソリン使用削減の取組み	達成状況	次年度
数値目標	×	
・エコドライブの推進（全社）	△	継続
・訪問先の日時調整と効率的ルートを選択（支社）	○	継続削除
・乗合せによる社用車使用の削減（支社）	△	継続削除
・車両入替え時のガソリン残量削減（支社）	○	継続
・運行記録の管理	△	継続
・冬季霜よけ対策	○	継続削除



取組結果とその評価、次年度の取組内容

- ・乗合せによる使用頻度の削減を行ったが、時間や目的地などの課題が多く思うように運用が出来なかった。また、使用量・燃費共にイレギュラーな送迎使用が発生したために未達となった。
- ・今回、社用車の用途や回数などの調査を行うも、活用まで出来ていないので 次年度は活かして削減に繋げたい。

無駄な移動がないか
調べてみよう～



③ 一般廃棄物の削減



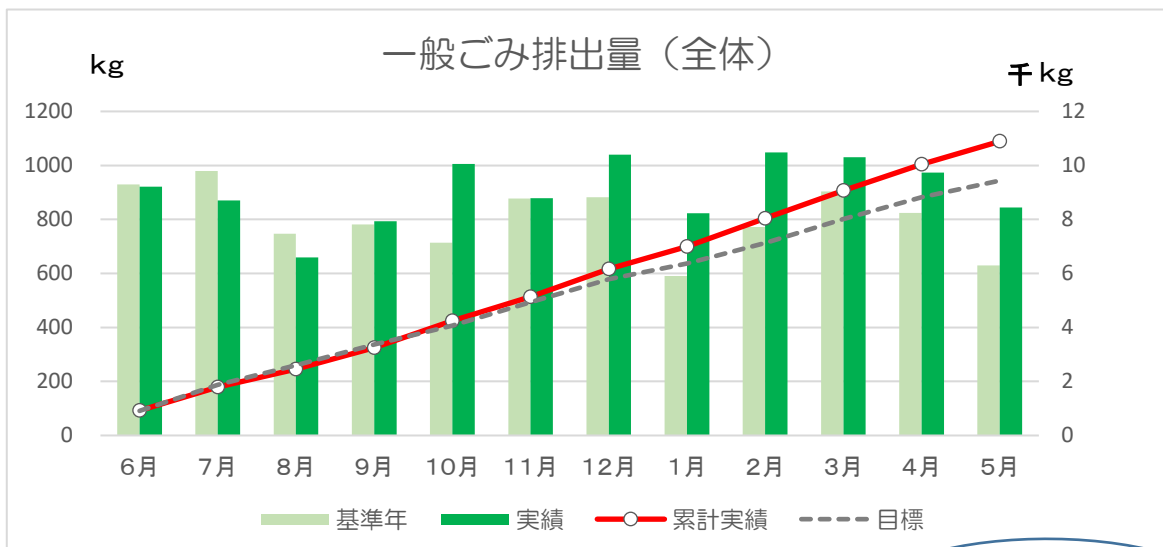
一般廃棄物削減の取組み	達成状況	次年度
数値目標	×	
・分別によるリサイクルの徹底	△	継続
・リサイクル分別の確認フォロー	△	継続
・判り易い分別表示	△	継続
・分別の認識度確認	○	継続
・仕入れ先へ納入容器の返却推進	△	継続



判り易い分別表示



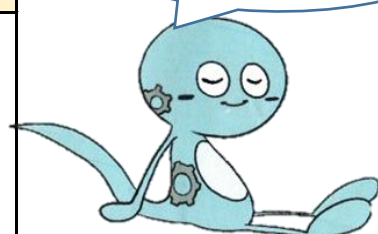
一般廃棄物講習会



取組結果とその評価、次年度の取組内容

- ・新人教育のカリキュラムに廃棄物分別教育が入っているが、実作業での分別間違いのフォローで定着出来ていない。
- ・分別の理解度調査を実施し修正を試みるが思うように分別の定着まで進まなかった。
- ・全員に分別が浸透出来るように指導を行い削減に取り組む。

何事も定着させるって
難しいねえ～。



④ 水道水使用量の削減



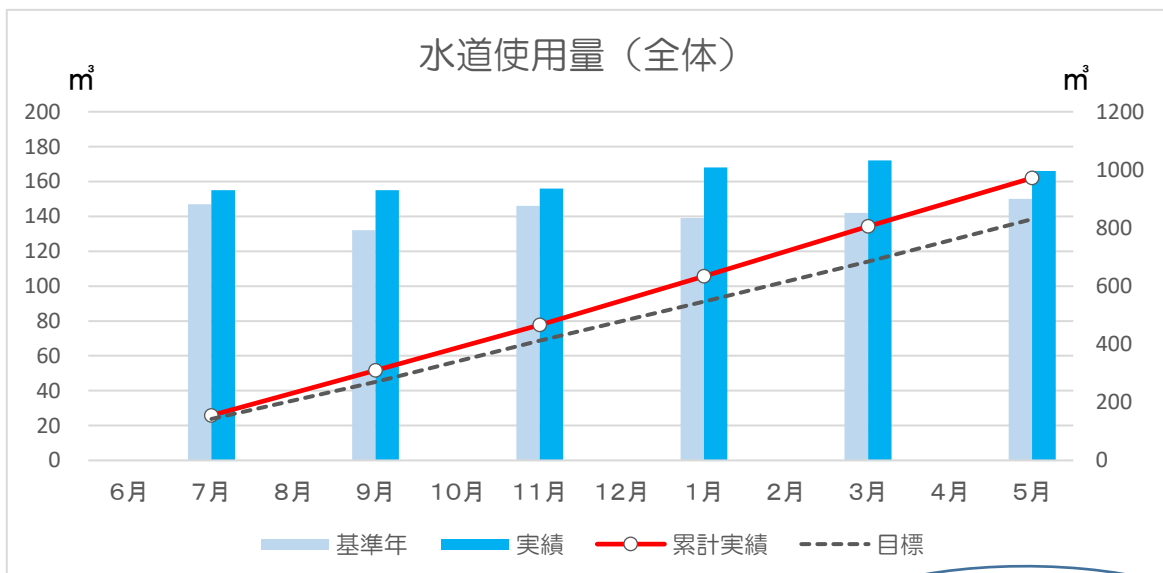
水道水使用削減の取組み	達成状況	次年度
数値目標	×	
・ 節水活動の啓発強化	△	継続
・ トイレに擬音装置取り付け	○	継続
・ 手洗い時の垂れ流し削減	○	継続



垂れ流し防止の注意喚起



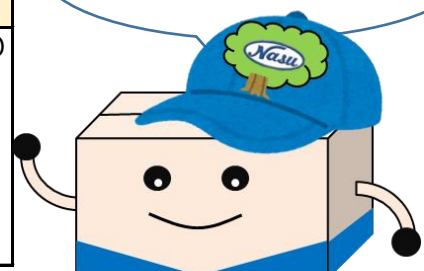
女子トイレに擬音装置設置



取組結果とその評価、次年度の取組内容

- ・ 開発センター1階の新たな運用開始による利用者の増加、包装センターのウォーターサーバー変更に伴う使用量の増加で達成できていない。
- ・ ウォーターサーバーの使用状況の検証を含め増加要因の解明などを行い引き続き削減に取り組む。

色々変化があったねえ！



⑤ 生産性の向上と人づくりの活動



生産性の向上と人づくり	行動目標
・障がい者雇用の促進－健新	○
・安全G会合の開催（1回/月）－安健練	○
・安全環境パトロール	○
・外部教育・研修の活用－健安品練新	○
・QCサークル活動	△
・インターンシップ受入	○
・従業員の健康促進	○

取組実施内容
・毎月従業員の健康面へのアナウンス実施 ・障がい者の作業体験実習（受入れ）を実施 ・包装機の導入による能力格差の縮小（開発C） ・開発C職場環境の改善（働きやすさ）



包装機の導入（開発C）



協力会社として表彰状と盾を頂く

・コロナ禍においても全社員の感染防止対策が構築でき、供給体制の維持確保ができたこと。

・障がい者雇用の促進並びに福祉施設へ社会貢献できたこと。

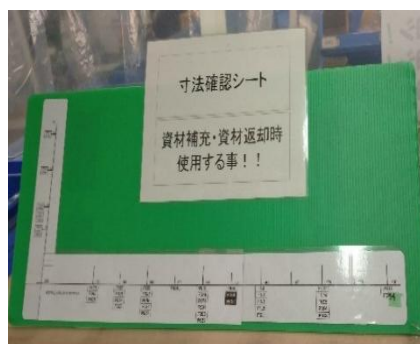
・社員一丸となり品質向上にチャレンジし達成できたこと。

◆ 包装センター

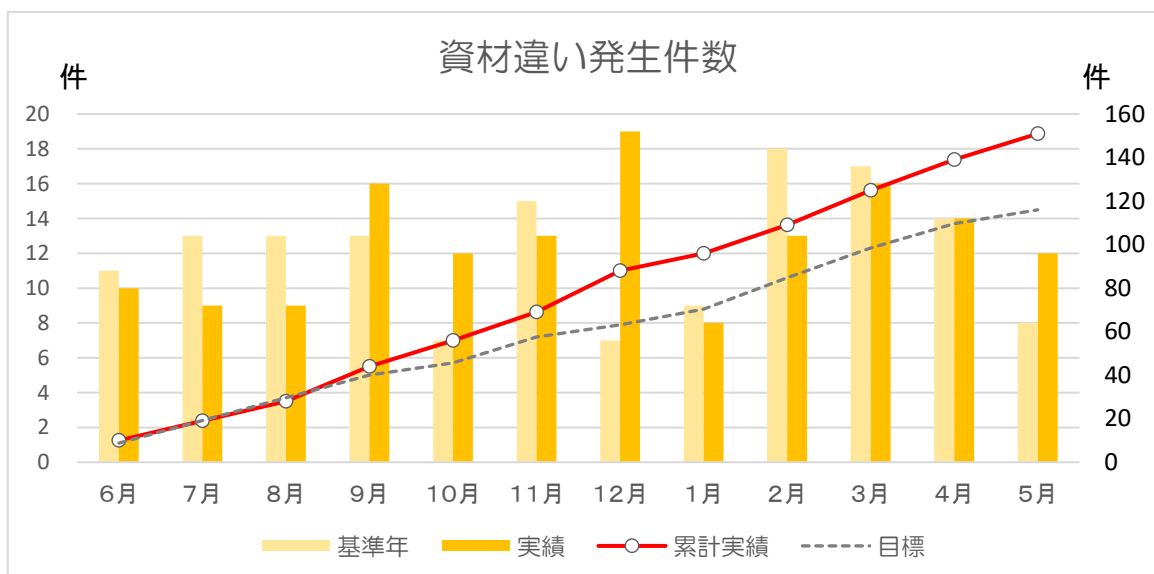
資材間違い削減の取組み	達成状況	次年度
数値目標	×	
・作業観察（名/日）一品練	○	継続
・検知力テスト（名/日）一品練	○	継続
・包装資材共通化の促進（アイテム数）	×	強化
・作業台の引出し資材の置場統一	○	削除



引出し内の資材保管容器に蓋を設置



資材確認用のスケールを設置



取組結果とその評価、次年度の取組内容

- ・対応策を講ずるも基準年を上回る結果となってしまった。これは、要因分析が不十分であったことが反省点に挙げられる。
- ・次年度は、要因分析をしっかりと行い対策を講じ、削減に取り組む。

来年こそがんばろ～。



◆ 部品センター

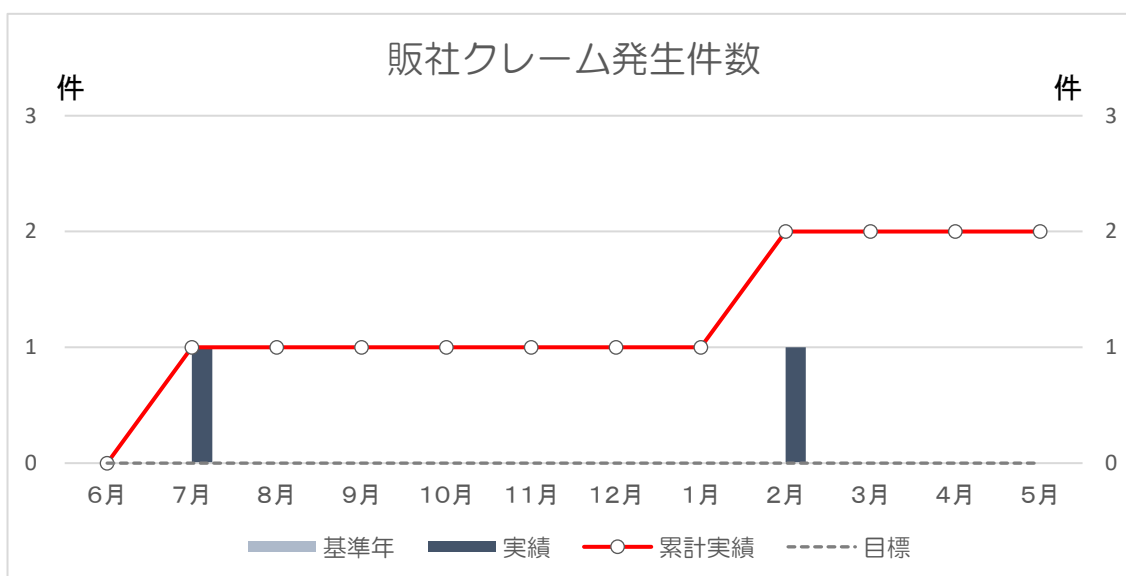
販社クレーム削減の取組み	達成状況	次年度
数値目標	×	
・作業観察一品練	○	継続
・検知力テスト一品練	○	継続
・過去トラブル事例教育の実施一品練	○	継続
・検知力テストの各パターンの作成と教育一品練	△	継続



エラー発生時の解除に制限を設



過去のトラブル事例の教育風景



取組結果とその評価、次年度の取組内容

- ・目標0件という難目標に取り組んだが、慌て作業とイレギュラーな板金部品の重なりで、2件発生させてしまった。しかし、発生率0.33PPMという好結果が得られたのも全員の品質意識が向上しているからと思われる。
- ・定期教育の継続と、作業員に対してやり難さなどのヒアリングを行い削減に繋げる。

目標0件は、
難しいね～



■包装センター 防災避難訓練実施日：2023年9月27日

訓練目的

- ① 災害対応の向上・強化
- ② 被害の軽減

火災の発生から警報発報、館内放送、避難、初期消火、119番通報、避難完了までの訓練を行った。

- ・火災を想定した訓練
- ・参加者：70名
- ・消防署員による講話
- ・7分45秒（避難時間）



避難訓練後の講評



火災予防講習



屋内消火栓の使用指導

●訓練の評価・見直し・手順書の変更の必要性

良かった点	
・迅速に避難が行えたこと、屋内消火栓の使い方のコツを学べたこと。	
見直す点	
・特に変更箇所は見受けられなかった。	
手順書の変更の必要性	
☐ あり	☒ なし

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

[1] 適用となる主な環境関連法規制

◆法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

確認日 2023年6月12日

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物（分別によるリサイクル） 産業廃棄物（混合廃棄物、廃水銀使用製品等）	○
騒音規制法	空気圧縮機（該当機なし）	—
振動規制法	空気圧縮機（該当機なし）	—
フロン排出抑制法	第1種特定機器（業務用空調機）	○
消防法	防火管理者・消火器	○
顧客要求事項	顧客調達ガイドライン（2016年12月発行） 顧客仕入先CSRガイドライン（2020年1月発行） 調査票	○

[2] 遵守状況評価結果並びに違反、訴訟等の有無

（1）遵守状況評価結果について

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規性等は遵守されていました。

（2）違反、訴訟等について

違反、関係機関等からの指摘、地域住民からの苦情も訴訟等も過去ありませんでした。

【今回の評価結果と今後の経営視点】

実施者： 代表取締役社長 那須 善行

【評価結果】

今年度は、作業現場の視点に立ち環境改善や作業負荷軽減を中心に活動を行なった。日常の作業品質向上とエコ活動を両立させていく上で重要な事は、それを行う人への配慮である。暑さ寒さ等の環境負荷や作業のやりにくさ等を改善する事は、結果として作業品質の向上に繋がる。例えばスポット冷暖房の吹出口を季節により作業台の上部と足元に切り替える事によって作業従事者の体感が改善された事例等がある。これは結果的に冷暖房効率の向上にも繋がり、エコ活動との両立が実現した。また、メインの作業台と補助作業台間の高さ調整や作業スペース捻出を行う事で、作業負荷の軽減と作業効率の改善に繋がった事例もある。人財開発センターでは自動包装機の増設と共に機械稼働音への対策を進展させ、作業環境負荷の軽減による作業品質維持が実現できた。これは作業者個々の特性により騒音への受け止め方が異なるため、機械周辺の防音対策と共にイヤーマフの装着を選択させる事により、一層効果的な防音対策ができた。このイヤーマフは騒音と共に周囲の雑音も軽減される為、同時に作業への集中力が維持できる事も分かった。また、床面を薄いグレー色に塗り替えた事で作業場内が明るくなり、心理面への効果も感じられた。このように「人への配慮」が想像以上に様々な改善につながる事をパトロールに参加する中で実感できた一年であった。

一方、数値目標としては、未達となった。これは開発センター1階部分の新たな運用による負荷の増加が挙げられる。この評価結果を踏まえ次年度は、基準年を変更して環境負荷の低減に繋がるよう活動していく。

今後も作業現場と同じ視点に立って改善を継続して行きたい。

【経営視点】

現在、経営上のリスク対策として「人手不足」と「自然災害」への対応を考えている。まず「人手不足」への対応であるが、以前から始めている自動包装機の増設に加えて「協働ロボット」の導入を検討中である。これは作業場周辺の運搬ロボットや自動包装機と連携できるアーム型のロボット等を想定している。技術的には作業工程の全自動化も可能ではあるが、費用対効果を考えれば現実的ではない。むしろロボットが得意とする工程と人が得意とする工程のベストミックスを狙っていく考えだ。一般にロボットは連続する反復作業等が得意であり、人はモノの識別・判断能力等がロボットよりも優位にある。今後は、人への作業負荷が現状よりも更に軽減される工程組みを目指す事により、より多くの人に適応可能な作業工程を開発しようと思っている。将来的には遠隔地（自宅等）からリモートで作業できるように環境を整えて行く考えで、実現すれば高齢者や就業困難者の就労機会を増やす事になり、更に人手不足解消への見通しが立つ。

次に自然災害への対応であるが、昨年度から開始した事業継続計画（BCP）の策定を着実に実効ある形で進めていく事に尽きる。近年度重なって起こる地震や大雨に対しての備えの充実を図ると共に、全従業員と外部関係者との連携を機能させる事を重点に展開したい。特に出勤時と災害発生が重なった場合は従業員の安否確認自体が困難な為、その場合に備えて日頃からの周知と訓練が重要だと認識している。

これら二つの経営リスクへの対応は多くの点でエコ活動に繋がると考えている。人手不足対応策の作業内容簡素化による適応者拡大の取組は作業従事者の負荷の軽減と作業品質の向上、すなわち資源の無駄遣いを無くす事に繋がり、自然災害への対応は、災害発生時の状況を想定し最小限の備えを考える事によって、日常利用している資源の過剰消費への気付きに繋がると考えている。今年度も引き続きエコアクションに立脚した経営視点を持ち続けたい。

【今回の取り組み結果からの変更等の有無】

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの活動の紹介

◆ 安全な職場環境-1

健

安

練

新

〈 健康と予防 〉



食堂に除菌装置を設置



検温器と消毒器



ウォーターサーバー

〈 注意喚起と消毒 〉



手指消毒の注意喚起

コロナ対策で、体調を
壊す人が少なかったね

健康ってありがたいネェ！



ディスタンス



関連SDGs



◆ 安全な職場環境-2

健

安

練

新

〈 歩車分離遮断機の設置 〉



フォークリフトと作業者が交差する場所に、
片方の遮断機が上がると、もう片方が降りてくる

関連SDGs



◆ 安全な職場環境-3

健

安

練

新

〈 防風・防寒対策 〉



風が吹き抜ける箇所に防風シートを設置

関連SDGs



◆ 環境の誓い

健

安

品

練

新



従業員に個人の年間取組み目標を自己宣言して貰い、3か月ごとに自己評価の結果を「宣言」に表示することで環境活動への意識向上と定着を図る。

関連SDGs



◆ 障がい者雇用の講演

健

安

練

新



「企業における障がい者雇用の実際」と題し、弊社の障がい者雇用の取組みなど再現VTRと合わせ「兵庫障がい者職業センター」で行わせて頂いた。

関連SDGs



◆ 開発センター開設

健

安

練

新



障がい者向けの作業場を人財開発センターと名称を変更

関連SDGs



◆ WEB会議の運用

健

安

練

新

〈 オンライン会議の活用 〉



社内会議



外部講習会・セミナー

関連SDGs



◆ 地域貢献活動

安

品

練



毎月町内会の清掃活動に参加



地元中学生や地域の方々と有馬川のクリーン作戦に参加（ホテル生息地）

関連SDGs



◆ 小学校の安全立哨活動

安

練

新

「こども見守り隊」

いざ出動！！



那須梱包では社員で当番を決め、**月曜日**と**金曜日**に地域の小学校の通学路で安全立哨活動を積極的に行っています。

関連SDGs



◆ 地元地域応援



永年ににわたり社会福祉施設へ就労事業の振興と進展に貢献したと全国社会就労センター評議会様より特別感謝状を頂く



独立リーグ（野球）の応援活動としてチーム名入り自動販売機を包装センターと開発センターに設置

関連SDGs



◆ エコキャップ・プルタブ運動

健

練

新



ペットキャップ回収ボックス



プルタブ回収ボックス

エコキャップ推進協会へ16.5kgを寄贈し約51.97kg/CO₂（焼却処分時）削減に貢献

関連SDGs



◆ 安全標語・品質標語

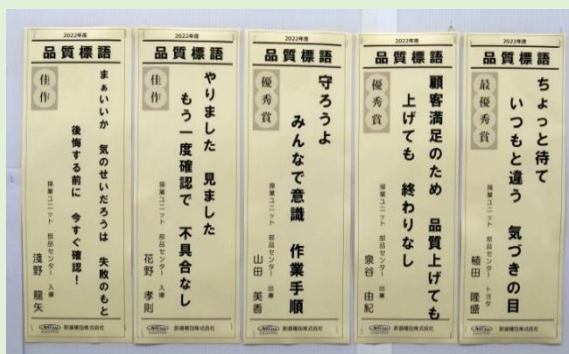
安

品

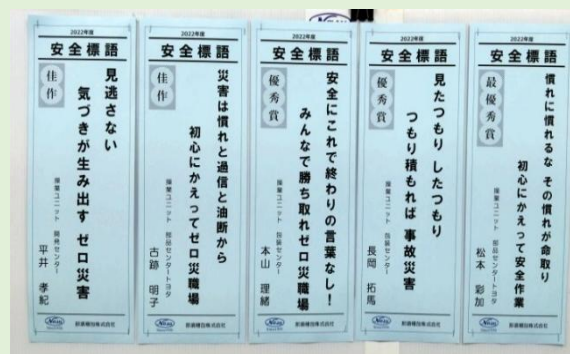
練

新

従業員の応募作品から優秀作を選定し表彰・掲示



品質標語優秀作品



安全標語優秀作品

関連SDG s



◆ 内部監査・更新審査

品

練

新

安全環境パトロール



審査風景



関連SDG s



〈 生物多様性 〉



メダカの育成



コバノミツバツツジの発芽・育成にチャレンジ
西宮市広田神社境内に群落
(県指定記念物)



どんぐり苗の育成

〈 部品センター植樹活動 〉



植樹活動への参加



どんぐり苗の植樹

関連SDGs



那須グループでは、社会人としての常識とやりがいを持ち活躍できる人財育成のために、教育や研修・講習会活動を行っています。

＜各種研修会活動＞

入社後は会社概要を知ることから始まり、社会人としてのマナーや



新入社員研修



新入社員研修



ハラスメント講習会



メンター研修



一般廃棄物講習会



2023年度社員大会

関連SDGs



◆ 環境活動の掲示

品

練



環境活動掲示板

- ・ 認証登録票
- ・ 環境経営方針
- ・ 組織と役割
- ・ 取組み内容
- ・ 環境目標
- ・ SDGs との関係
- ・ 取組み実績の掲示
- ・ 活動レポートなど

関連SDGs



◆ Nasu - Mateの発行

練

新



3か月ごとに社内出来事などを発信する社内報

関連SDGs

